

船舶事故調査報告書

平成23年4月14日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 山本 哲 也
 委員 石川 敏 行

事故種類	乗揚
発生日時	平成22年5月15日 01時00分ごろ
発生場所	静岡県焼津市焼津港 焼津港焼津南防波堤南灯台付近 （概位 北緯34°51.3′ 東経138°19.8′）
事故調査の経過	平成22年5月17日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報	
船種船名、総トン数	漁船 第二興成丸、6.97トン
船舶番号、船舶所有者等	SO2-3045（漁船登録番号）、個人所有
L×B×D、船質	11.32m×3.28m×0.84m、FRP
機関、出力、進水等	ディーゼル機関、423kW（漁船法馬力数）、昭和52年5月21日
乗組員等に関する情報	船長 男性 57歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和58年4月13日 免許証交付日 平成19年3月19日 （平成24年7月10日まで有効）
死傷者等	なし
損傷	右舷船首水線部に亀裂及び左舷中央船底部に破口が生じ、船首部魚倉及び機関室に浸水
事故の経過	本船は、船長ほか6人が乗り組み、焼津港の焼津南防波堤東方沖1,000m付近で、漂泊していたが、平成22年5月15日00時50分ごろ小川南防波堤東方沖1,200m付近にいた僚船が帰航し始めたことから、00時55分ごろ約5ノットの速力で手動操舵により帰航を開始した。 船長は、北東方に開いた焼津南防波堤と小川南防波堤との間（以下「防波堤間の開口部」という。）を航行しようとしたが、左舷側から複数の僚船が入航してきたので、僚船との距離を広げようとして右舷側に膨らんで大回りし、焼津南防波堤に接近して航行中、本船は、01時00分ごろ焼津南防波堤南端付近の水面下の消波ブロックに船底部が乗り揚げた。 本船は、翌日、クレーン台船により吊り上げられて上架された。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北西、風力 2、視界 良好 海象：潮汐 上げ潮の初期
分析	乗組員等の関与 あり 船体・機関等の関与 なし 気象・海象の関与 なし 判明した事項の解析 本船は、焼津港内を係留地に向けて航行中、防

		波堤間の開口部を航行する際、船長が、左舷側から入航してきた僚船との距離を広げようと焼津南防波堤に接近したことから、焼津南防波堤南端付近の消波ブロックに乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、焼津港内を係留地に向けて航行中、防波堤間の開口部を航行する際、船長が左舷側から入航してきた僚船との距離を広げようと焼津南防波堤に接近したため、同防波堤南端付近の消波ブロックに乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	